広報
さめがわ

昭和63年
11月号
No. 419
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



鹿角平観光施設オープン

鹿角平草地は、昭和50年から52年にかけて、阿武隈南部区域広域農業開発事業により造成された採草牧場で、東白川管内4町村で経営し、現在良質で安価な乾草を生産して管内の畜産農家に供給しています。

村では、採草地と観光地としての調和を図っていくため、草地の一部を借り受け、昭和62年と63年度の2か年でまちづくり事業によりバーベキューハウス、共同調理場、東屋、アスレチック、バンガローなどの観光施設を設置しました。

このたび、これらの施設が完成し、10月16日午前9時30分から現地でオープン式を行いました。

式では、芳賀村長が、観光施設を整備するに至った経緯を述べ、村議会議長、白河商工労政事務所長、穂積衆議院議員らからお祝いのことばがありました。

続いて芳賀村長、蛭田議長、金沢商工労政事務所長が、テープカットを行いました。

このあと、引き続き午前10時から〝鮫川うまいもの祭り〟が行われました。

11月19日～21日	第41回鮫川村文化祭(集中行事)
11月26日～12月2日	秋の全国火災予防運動
12月16日	県政巡回相談(山村開発センター)

今月の人口

(11月1日現在)

		前月比
人口	5,463	(－1)
男	2,696	(－1)
女	2,767	(0)
世帯数	1,136	(0)

栄えある受賞

県林業コンクール

県知事賞
間伐部門
遠藤 慎一郎さん
枝打部門
矢吹 一二さん

このたび、県林業コンクールの間伐技術部門で遠藤慎一郎さん（＝大字渡瀬字上耕地）、枝打技術部門で矢吹一二さん（＝大字赤坂西野字仁田）が、見事『県知事賞』を受賞しました。

このコンクールは、林業技術の向上などを図るため、県が実施しているものです。二人は、東白川郡森林組合が、奥久慈林業の振興のために毎年行っている林業コンクールで、『最優秀賞』を受賞し、推薦を受けて県のコンクールに参加しました。

施業技術、経営の計画性、地域林業への普及性等について審査の結果、知事賞に選ばれたものです。

遠藤慎一郎さんは、渡瀬字木之根地内の所有山林（樹種スギ、林齢二八年生、林分面積〇・八ヘクタール）で、優良大径材生産を目標とした間伐を実施しました。

また、矢吹一二さんは、赤坂西野字仁田地内の所有山林（樹種スギ、林齢一五年生、林分面積〇・三ヘクタール）で、中・大径の優良材生産を目標とした技打を実施しました。

今回、本村の林家が、優良材を生産するうえで欠かせない間伐と枝打の施業技術等で、高い評価を受けたことは、奥久慈優良材の産地を目ざしている本村にとって大変心強いことといえます。

なお、表彰式は十月三十日、郡山市の県林業試験場で佐藤知事が出席して行われ、遠藤慎一郎さんが受賞者を代表して謝辞を述べました。




受賞者を代表して謝辞を述べる遠藤慎一郎さん

県社会福祉大会

蛭田覚さんらに
県知事感謝状

十月二十七日、須賀川市で「福島県社会福祉大会」が開催され、席上、長年民生委員・児童委員として尽力された蛭田覚さん（＝大字渡瀬字田苗下）と社会福祉事業に寄附された石田穣さんに知事感謝状が贈られました。

宗田 稔さん
県農業改良推進協議会長賞を受賞

十月二十八日、西会津町で「第三二回福島県農業改良推進大会」が行われ、席上、宗田稔さん（＝大字赤坂東野字内ケ竜）が、県農業改良推進協議会長賞を受賞しました。

宗田さんは長年にわたり、農業改良推進員として活躍され、現在は東白川地方農業改良推進員連絡協議会の会長（二期目）を勤められています。

石井輝二さんに
県統計協会長賞

第三八回福島県統計大会が、十月二十日会津若松市で開催され、大会の席上長年にわたり統計業務に功績のあった次の方々に表彰状が贈られました。

（敬称略）

◇福島県統計協会長表彰▼調査員＝石井輝二（木戸沢）▼市町村職員＝須藤健（企画調整課）

中川西好幸さん
県文学賞（短歌部門）を受賞

このたび、中川西好幸さん（＝大字赤坂東野字遠ケ竜）は、第四一回県文学賞（福島民報社・県教育委員会共催）の短歌部門で見事、県文学賞（正賞）に輝きました。

中川西さんは、これまでの作品をまとめて『峡の雲』という本を発刊され、これが認められて今回受賞となったものです。

表彰式は、十一月三日「文化の日」に県文化センターで行われました。

村交対協

県交対協会長賞を受賞

第二七回福島県交通安全県民大会が、十月二十五日相馬市で行われ、席上、鮫川村交通対策協議会が県交通対策協議会長表彰の栄に浴しました。

これは、日頃交通安全の普及活動や村内での交通死亡事故ゼロ千日達成などが評価されたものです。

このほか、交通関係で功績があった方と長年無事故無違反の次の方々が表彰されました。

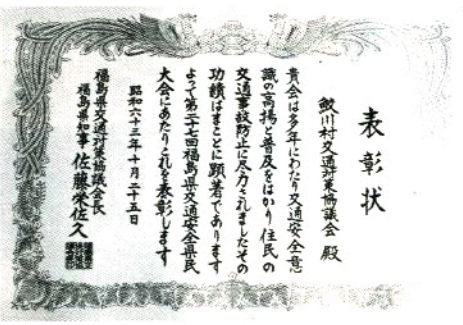
（敬称略）

【県警察本部長・県交通安全協会長連名表彰】

▼交通安全功労者＝矢吹義郎

▼優良運転者＝長井久男、江田一夫





表彰状

鮫川村交通対策協議会　殿

貴会は多年にわたり交通安全意識の高揚と普及をはかり住民の交通事故防止に尽力されましたその功績はまことに顕著であります　よって第三十七回福島県交通安全県民大会にあたりこれを表彰します

昭和六十三年十月二十五日

福島県交通対策協議会長氏
福島県知事　佐藤栄佐久

鮫川中駅伝チーム

快挙

やったー！県大会で見事優勝

東北大会でも堂々5位

「第三一回福島県中学校駅伝競争大会」が、十月八日に西郷村・太陽の国（八区間、三一・四キロ）で二九チームが参加して行われ、東白川郡代表として鮫川中学校が出場し、一時間四二分五七秒のタイムで見事優勝しました。

一区を第三位でスタートしたあと、二区では第二位に追いあげ、三区でトップに立ちそのまま二位・石川中に五八秒の差をつけて逃げ切り優勝を果たしたものです。

なお、第五区の芳賀幸夫君と第八区を走った高野勇一君が区間賞（区間第一位）をとりました。

続いて、十月二十二日には「第四回東北中学校駅伝競争大会」が秋田県鷹巣町で行われ、鮫川中学校が福島県代表として出場しました。大会には、東北六県から二〇チームが参加し、八区間・三一・一二キロで熱戦が繰り広げられた結果、一時間四三分四六秒で堂々第五位に入賞しました。

なお、三区を走った芳賀幸夫君が県大会に続いて区間賞を獲得しました。

鮫川村からはもちろん、郡内の中学校としても、県大会優勝、並びに東北大会入賞は初めてのことです。

◉出場選手

▽中川西浩一（二年）▽諸橋晴彦（二年）▽芳賀幸夫（三年）▽須藤博（二年）▽湯坐秀弥（一年）▽溝井武治（二年）▽薄葉昌章（二年）▽高野勇一（三年）

《東北大会出場順》



▲快挙をなし遂げた鮫川中駅伝チーム

花いっぱいコンクール

西山小に努力賞

郷土を花で飾ろう――をスローガンに「第二一回花いっぱいコンクール」が行われましたが、本村からは西山小学校が参加し、努力賞を受賞しました。

このコンクールは、県緑化推進委員会等が毎年行っている運動で、今年は三六八団体が参加したなかで見事入賞したものです。

なお、西山小学校では、昭和六十一年度には県知事賞を受賞しています。

大盛況！

2,500人が参加

初めての試みとして、鮫川村商工会むらおこし実行委員会主催・鮫川村ふるさと振興協議会共催による〝鮫川うまいもの祭り〟が十月十六日午前十時から鹿角平地内で行われました。

この日は、朝は寒かったものの、日中は絶好の小春日和となり午前十時の開場を待ちかねた人たちが続々と会場に集りました。開場と同時に席に着き、さっそく炭火のバーベキューで舌鼓を打ちました。

イベントでは、早川むらおこし実行委員長、芳賀ふるさと振興協議会長（村長）のあいさつに続き、藤田県議会副議長らからイベントの成功





▶主催者あいさつをする早川実行委員長（商工会長）



▲150準備されたバーベキューの席も満席



▶芳賀ふるさと振興協議会長（村長）あいさつ

絶叫大会



▲鮫川の○○はうまいゾー!!

◀凧上げ





紙飛行機大会



▶ラジコン飛行

鮫川うまいもの祭り

鹿角平で開催

を祝してお祝いのことばがありました。
このあと、うまいもの祭りのため東京から駆けつけた東京鮫川会佐藤大助会長が乾杯の音頭をとり、イベントは盛りあがりました。
このほか、〝鮫川うまいぞ〟絶叫大会〟や〝紙飛行機大会〟〝うまいもの青空市〟、〝試食・試飲コーナー〟、凧上げ、ラジコン飛行なども行われ、約二、五〇〇人が参加して「鮫川うまいもの祭り」は大盛況でした。



▶乾杯の音頭をとる佐藤東京鮫川会長



会場には牛や緬羊が出陳





▲鏡開き（左＝早川実行委員長、中＝佐藤東京鮫川会長、右＝芳賀村長）



なごやかにバーベキュー

うまいもの青空市





▲鮫川うまいもの青空市も大人気

冷害対策

対策本部会議を開催

異常気象による水稲、農作物の被害が甚大であることから、今後の対策に追われているところですが、十月二十二日、村、農協、共済組合、県など関係機関と農事組合関係者二八名が出席して「農作物等異常気象対策本部」会議が開催されました。

この会議では、被害概況、災害対策の経過などについて村が説明したあと、農業共済組合からは共済金の支払い時期、農協からは資金の貸付や営農指導について、土地改良区からは償還金の繰延べや納期の延期について、県からは県としての災害対策（県議会での補正、農政の方向指導）などについてそれぞれ説明があり、これに対して協議が行われました。

村が、十月十五日現在まとめたところによると水稲が四億九、八〇〇万円、その他の農作物で二億二、七〇〇万円、合計七億二、五〇〇万円（飼料作物を除く）もの被害になっています。

農作物被害概況

（10月15日現在）

作物名	作付面積(ha)	被害額(千円)
水稲	559.0	497,627
夏秋トマト	5.3	40,056
ばれいしょ	25.0	32,720
さやいんげん	12.0	31,226
その他野菜	41.0	10,093
大豆	23.0	5,001
小豆	27.0	6,938
葉たばこ	34.2	11,230
こんにゃく	75.0	86,443
桑	24.0	3,615
計	825.5	724,949

※葉たばこについては、日本たばこ産業㈱の9月15日現在のものである。

村税等の減免条例制定

これらの対策として、村では、十月十五日に臨時村議会を開いて、村税等の減免に関する条例を提案し、議会で可決されました。

救農土木事業実施

また、救農土木事業を実施するため、就労希望とりまとめを行った結果、村内の一六五人から希望がありました。

今後、就労説明会を開いたあと、村有林の除伐作業、土木工事への従事などを進めることにしています。

第41回鮫川村文化祭案内（集中行事）

山村開発センター

【19日】▶映画会（イタズ）15：00～17：00

【20日】▶お母さんお嫁さんに感謝する会（健康優良児表彰、小・中学生感謝作文朗読、慰安演芸＝鮫川ふる里文化芸能クラブ）10：00～12：00▶鮫川ライオンズクラブチャリティバザー

【21日】▶幼・小・中学校（幼児・児童・生徒）学習発表会10：30～14：30

農業者トレーニングセンター

【19日～21日】▶短歌色紙展▶郵便局ふれ愛コーナー、（母と子・父と子の似顔絵コンクールほか）▶アマチュア無線公開▶小・中学校、高校児童生徒作品展▶農業生活改良推進員コーナー▶幼児保育写真展▶村政写真展▶中井恒峯日本画展▶老人作品展▶生活工夫展▶華道展▶書道展

【19日～20日】▶婦人会バザー

商工会館

【20日】▶ふれあい広場9：00～16：00

歴史民俗資料館

【19日～21日】▶文化財・民俗資料等常設展

協賛

【21日】▶こどもの広場（臨時保育所開設）＝鮫川幼稚園9：00～14：00

▶献血車臨時運行／
山村開発センター前＝10：30～12：00
農業者トレーニングセンター前＝13：00～15：00

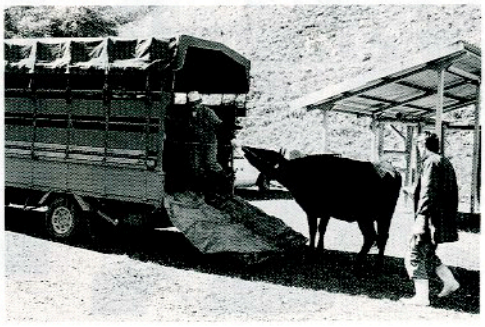
放牧牛も里帰り

東野・戸草牧場閉牧

五月十二日に開牧した東野と戸草放場は、十月三十一日閉牧となりました。

この日、退牧した牛は、東野・戸草牧場合わせて二五頭で、飼い主がそれぞれ引き取りに来ましたが、なかには牧場での生活に慣れたせいか帰るのをいやがり、なかなか車に乗らない牛もいました。

今年は、一七二日間、延べ四、九五一頭が放牧されました。



◀飼い主に引き取られて、我家に帰る放牧牛

水田農業確立対策

今年の転作達成率は108パーセント

昭和六十三年度、水田農業確立対策による転作等実施面積が、このたびまとまりました。

今年度の村の転作等目標面積は一七一ヘクタールでしたが、これに対し、一八五・九ヘクタールが実施され一〇八・七一%の達成率となりました。また、全農事組合で目標面積をオーバー（一〇〇%以上達成）しました。

大字別の達成率は次のとおりです。

	目標面積①（a）	実施面積②（a）	達成率 ②÷①×100（%）
西野	3,122	3,502	112.2
西山	2,937	3,015	102.6
中野	1,619	1,761	108.8
東石	2,906	3,348	115.2
富田	1,915	2,035	106.3
渡瀬	2,350	2,600	110.6
青生野	2,074	2,301	110.9
その他	177	28	15.8
計	17,100	18,590	108.7

勤労者互助会を設立

去る十月七日に、「鮫川村勤労者互助会」の設立総会が山村開発センターで開催されました。

村では、勤労者互助会を設立させるために、村内の会社等を訪問して会員を募集していたもので、呼びかけに応えて八事業所九五名の申し込みがあり、今回設立したものです。

勤労者互助会には、村内の会社や商店等で働いている従業員と事業主が加入でき、会員やその家族に災害や慶弔があった場合、見舞金や祝金が支給され、また、生活資金・住宅資金・教育資金等が一定の範囲内で借りられます。

今年度の事業としては、以上のほかに、村営保養施設「さぎり荘」利用への補助や、指定店での買物割引券の発行等を計画しています。



詳しいことは、役場企画調整課までお問い合わせください。

事業を行うものです。

〈役員〉

▽会長＝芳賀文雄村長

▽副会長＝早川光久（事業主代表）、鷺野谷弘行（従業員代表）

▽理事＝浅木繁和、柿沼源義、生田目丈夫、森正紀、湯坐武

▽監事＝中井政助、湯坐清

〃地域に広げよう健康の輪〃

東白川地方公衆衛生大会

地域住民の健康づくりと快適な地域社会づくりを目的として毎年開かれている「東白川地方公衆衛生大会」が、十月二十五日山村開発センターを会場にして、東白川郡内四町村の関係者が参加して行われました。

棚倉保健所長、東白川保健委員会連合会長、芳賀村長のあいさつに続き、長年、公衆衛生に貢献された団体・個人などに表彰状、感謝状が贈られました。このあと、受賞者を代表して、大河内赤坂中野区長が謝辞を述べました。引き続き、石川町・長泉寺の西川弘道先生を講師にお招きして「明るい家庭」と題して特別講演が行われました。

最後に、議事にはいり、大会宣言と大会決議があり閉会となりました。

この大会で、受賞された方々は次のとおりです。

◎東白川保健委員会連合会長表彰

▼赤坂中野区▼鮫川村商工会青年部

◎東白川地区公衆衛生協力会長表彰（優良施設）

▼湯坐美容室

◎福島県赤十字血液センター所長感謝状贈呈

▼鮫川器機株式会社



より速く より高く より遠く



延び延びになっていた「第一五回鮫川村小学校陸上競技記録会」が、十月十二日、村内小学校の三年生以上が参加して青少年広場で開催されました。

開会式に先立ち、青生野小学校を先頭に入場行進が行われ、参加者全員が元気に行進しました。開会式では、矢部教育長、来賓の方々から記録に挑戦してがんばってくださいとあいさつがありました。

続いて、五〇㍍走、一〇〇㍍走、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げなど一一種目が行われ、一〇の新記録と一つのタイ記録が生まれました。成績は次のとおりです。

小学校陸上競技記録会



■男子

◆三年▼五〇㍍走①舟木敏也（西野）②根本幸治（富田）③緑川友和（西山）▼走り幅跳び①舟木副善（西野）②矢吹祐二（鮫川）③矢吹隆司（富田）

◆四年▼五〇㍍走①矢吹勇逸（西野）8秒0《大会新》②斎藤義雄（西山）②須藤信二（西野）③矢吹靖弘（鮫川）③我妻伸一（西山）③斎藤章（鮫川）▼中距離走（六〇〇㍍）①諸橋忠男（鮫川）3分28秒0《大会新》②舟木敏勝（西野）③矢吹功（西野）▼走り幅跳び①森紀幸（鮫川）②関根裕則（西山）③大河内努（鮫川）▼走り高跳び①蛭田利幸（鮫川）②藤田雅教（渡瀬）③森隆之（鮫川）▼ソフトボール投げ①岡崎進也（鮫川）②森紀幸（鮫川）③片野美典（富田）▼四〇〇㍍リレー①鮫川小A 59秒9 ②鮫川小B ③西山小《以上大会新》

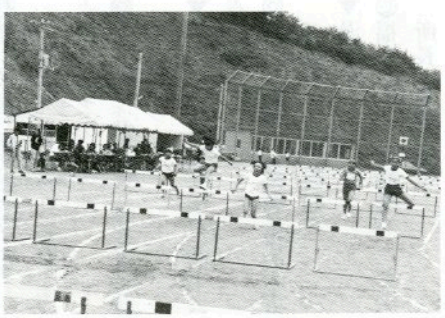
◆五年▼一〇〇㍍走①鈴木隆裕（鮫川）②舟木貴志（西野）③矢部靖弘（鮫川）▼八〇㍍ハードル①金沢由樹（鮫川）15秒0《大会新》②鈴木文明（鮫川）③山形和彦（青生野）▼中距離走（八〇〇㍍）①斎藤義雄（西山）②須藤信二（西野）③矢吹靖弘（鮫川）▼走り幅跳び①霜田利幸（西野）②金沢由樹（鮫川）③鈴木隆裕（鮫川）▼走り高跳び①佐川竜男（鮫川）②前田照文（鮫川）③山形和彦（青生野）▼ソフトボール投げ①舟木貴志（西野）②矢吹靖弘（鮫川）③関根直樹（西山）

◆六年▼一〇〇㍍走①森紀幸（鮫川）②斎藤隆幸（西山）③岡崎進也（鮫川）▼八〇㍍ハードル①岡崎進也（鮫川）②諸橋忠男（鮫川）③矢吹功（西野）▼中距離走（一、〇〇〇㍍）①諸橋忠男（鮫川）3分28秒0《大会新》②舟木敏勝（西野）③矢吹功（西野）▼走り幅跳び①森紀幸（鮫川）②関根裕則（西山）③大河内努（鮫川）▼走り高跳び①蛭田利幸（鮫川）②藤田雅教（渡瀬）③森隆之（鮫川）▼ソフトボール投げ①岡崎進也（鮫川）②森紀幸（鮫川）③片野美典（富田）▼四〇〇㍍リレー①鮫川小A 59秒9 ②鮫川小B ③西山小《以上大会新》

■女子

◆三年▼五〇㍍走①松本淳子（富田）②田子理恵（鮫川）③北條裕美子（西野）▼走り幅跳び①本郷祐子（西山）②芳賀朋子（鮫川）③小松直美（渡瀬）

◆四年▼五〇㍍走①芳賀由喜子（渡瀬）《タイ記録》②高坂祥子（西野）③中川西純子（鮫川）▼中距離走（四〇〇㍍）①北條はるみ（西野）②蛭田恵（鮫川）③関根利枝（西山）▼走り幅跳び①芳賀由喜子（渡瀬）②田子珠美（鮫川）▼走り高跳び①長田ゆかり（鮫川）1㍍18㌢《大会新》②板橋茂子（西山）③岡部有希（青生野）▼ソフトボール投げ①岡部有希（青生野）②塩田育恵（鮫川）③矢吹祐枝（鮫川）



◆五年▼一〇〇㍍走①北條真澄（西野）②橋本玲子（鮫川）③白坂咲美（鮫川）▼八〇㍍ハードル①宗田香織（鮫川）②白坂咲美（鮫川）③鈴木恵美子（西野）▼中距離走（六〇〇㍍）①舟木順子（西野）②鈴木恵美子（西野）③我妻由美子（西山）▼走り幅跳び①北條真澄（西野）②我妻恵美（西山）③橋本玲子（鮫川）③山形さつき（青生野）

◆六年▼一〇〇㍍走①田子祐

子（鮫川）②緑川昌子（西山）③西野千春（西野）▼八〇㍍ハードル①田子裕子（鮫川）15秒1 ②鈴木和愛（鮫川）《以上大会新》③山形美智子（青生野）▼中距離走（八〇〇㍍）①鈴木美幸（西野）②大竹紘子（西山）③宗田鈴穂（鮫川）▼走り幅跳び①坂本真樹（西山）②西野千春（西野）③円谷幸枝（富田）▼走り高跳び①関根紀子（西山）②鈴木美幸（西野）③矢吹幸恵（鮫川）▼ソフトボール投げ①矢吹幸恵（鮫川）②沢口久美子（青生野）③山本淳子（鮫川）▼四〇〇㍍リレー①西山小②鮫川小A ③西野小

献血のご協力に感謝します

十月二十日、村内四会場で献血を行いましたが、一〇一人（うち一二人が四〇〇㎖献血）の方々からご協力をいただき、ありがとうございました。

献血に協力された方々は、次のとおりです。（敬称略）

◎は四〇〇㎖献血者です。

▽渡辺邦浩▽羽田浩幸▽諸橋孝吉▽下重しずい▽中野西智子▽矢内隆之▽円谷真由美▽吉田ゆかり▽市川明美▽尾形淳子▽奥村健二▽中島武夫▽森田裕幸▽森　薫▽三瓶智弘▽長井久幸▽土屋貴子▽荒川弘之▽山形美好▽生田目繁▽円井一三▽我妻芳浩▽鈴木忠▽緑川常之▽藤田孝之▽新野剛▽根本文彦▽遠藤一孝▽藤田百合子▽山形美佐江▽近藤久美子▽◎長久保美英子▽下重智子▽酒井安代▽芳賀康子▽蛭田さとみ▽増谷隆夫▽佐藤博▽鷲野谷弘行▽本郷清美▽本郷栄治▽斉藤一郎▽諸橋覚▽中川西賢一▽小山田一成▽斉藤美津江▽斉須寛一▽◎緑川成生▽◎生田目丈夫▽高坂仁一▽舟木利次▽円井節子▽青戸嘉子▽斉藤カツエ▽関根邦芳▽白坂邦次▽須藤ヨシ子▽◎橋本幸雄▽鈴木治男▽石井智子▽◎芳賀正訓▽下重三男▽窪木征子▽◎金沢満▽鈴木初枝▽◎大楽勝弘▽北條利雄▽湯坐喜美重▽生田目京子▽芳賀洋子▽我妻久子▽◎樋口和典▽近藤保弘▽後藤昌弘▽◎石井豊▽青戸正彦▽関根英男▽高木頼子▽前田孝子▽松本多加子▽蛭田祐子▽金沢たよ子▽◎湯坐純隆▽佐藤勇▽岡崎良一▽矢吹比佐子▽鈴木市恵▽佐藤善秀▽渡辺浩佳▽藤田セツ子▽矢吹仁▽高坂郁子▽湯座セキ子▽松本セツ▽藤田敏江▽笹島幸弘▽◎大森茂▽山形仁▽◎藤田則雄▽工藤敏広▽大森嘉幸

第40回健康づくり秋季球技大会

鮫川村体育協会主催による第四〇回健康づくり秋季球技大会が、十月九日青少年広場ほか五か所を会場として行われました。

この日は、朝から小雨が降り、開催が危ぶまれましたが、予定どおり午前八時から青少年広場で開会式が行われ、ソフトボールは、青少年広場、村民運動場、赤坂西野区運動広場、西山区林研広場、鮫小校庭、家庭バレーボールは農業者トレーニングセンターをそれぞれ会場に熱戦が展開されました。

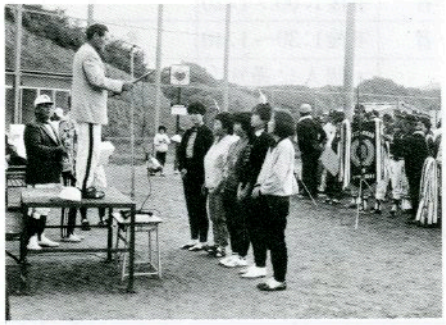
成績は次のとおりです。

◉ソフトボール

▼青年ソフトAブロック①渡瀬B ②中野南部 ③サンライズB／熊野A▼青年ソフトBブロック①大塩 ②東石南 ③新宿／馬場▼壮年ソフト①西野 ②東石 ③西山B／西山A▼OBソフト①渡瀬 ②富田 ③西山／青生野

◉バレーボール

▼家庭バレー①戸草 ②中野A ③西野／諏訪▼九人制バレー（30代）①中野B ②渡瀬B ③西山C▼九人制バレー①すみれ ②西野 ③青生野／中野

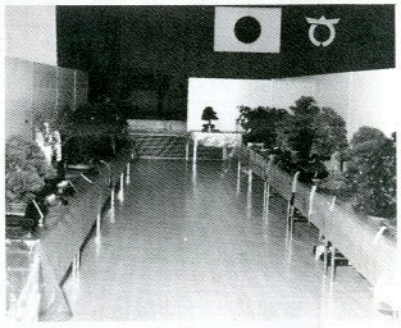


盆栽展

村盆栽愛好会主催による盆栽展が十月二十七日から二十九日までの三日間、山村開発センターで開かれました。

会員が丹精込めて手入れした盆栽や野草約一二〇点が出品され、参観者を魅了しました。入賞者は次のとおりです。

▼村長賞＝高坂久男▼議長賞＝本郷良光▼教育長賞＝藤田一夫▼公民館長賞＝須藤勝重▼農業委員会長賞＝矢吹幸男▼農協組合長賞＝鈴木昭二▼商工会長賞＝大竹茂▼福島民報社賞＝松本定雄▼早川新聞店賞＝鈴木幸夫▼入賞＝藤田弘梅、阿久津光翁、矢吹孝之助、関根貞男、松本太一



お元気ですか

保健婦です 糖尿病を防ごう

最近、知人が糖尿病になったとか、尿や血液の中に糖が出て糖尿病かもしれないという話が多くなってきていますが、実際に日本でも糖尿病の人は急激に増えており、その数は二〇〇万人と推測されています。これは食糧事情をはじめとする生活環境の変化によるものと考えられていますが、決して好ましい傾向とはいえません。

糖尿病の人が、現在では昔にくらべ長生きできるようになったことは確かです。

しかし、困ったことは、糖尿病を長年わずらうと全身の血管に余病がおこり、日常生活に支障をきたしたり、余病により死に至る人も少なくありません。これは特に糖尿病を放置している人に多くみられます。

―糖尿病ってなあに―

糖尿病はインスリンの働きが不足している病気です。インスリンは膵臓から血液に分泌されるホルモンで、働きが悪くなると、血液中のブドウ糖（血糖）が上昇します。血糖がかなり上昇すると、尿の中にも糖（尿糖）が出てきます。その状態が長く続くと、全身の血管のうち特に毛細血管に変化があらわれ、目（眼底出血）や腎臓（尿毒症）がおかされやすくなります。また、そのほかの血管には動脈硬化がおこりやすく、脳卒中や心筋梗塞などをひきおこすこともあります。

糖尿病は他人にうつりませんが、糖尿病になりやすい体質を子孫に遺伝させます。

―糖尿病の原因はなにか―

●生まれつきの体質

●誘因として

過食、運動不足、ふとりすぎ、感染症や外傷などのストレス、ある種のクスリ、妊娠など

―糖尿病と思われる症状―

◎自覚症状

●のどが渇き飲みものをたくさん飲む

●小便の回数が多くなる

●腹がすいていくらでも食べられ甘いものが欲しくなる

●からだがだるくすぐ疲れ性欲がおちる

●やせることもある

◎余病としての症状

●からだがかゆい

●手足のシビレ、神経痛

●歯ぐきがぐらぐらし歯が抜けやすい

●目がかすむ、視力が低下する

―糖尿病の早期発見―

①尿検査で糖が出た人

②ふとっている人

③血縁者に糖尿病がいる人

④流産、死産をくり返したり体重が四キログラム以上の子どもを産んだ女性

―日常生活で予防しよう―

①ふとらない

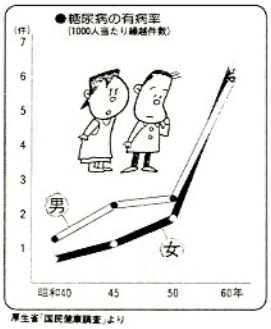
②カゼは早めに治療する

③妊娠時は定期検診を受ける

④余裕のある生活をする

⑤やたらに薬を使わない

⑥成人病検診でチェックする



厚生省「国民健康調査」より

11月12月の健康カレンダー

	種別		実施日	対象者	受付時間	会場
乳幼児健診	4か月児健診		11月9日(水)	63年7月生まれの者	午後1:00～2:00	棚倉保健所
			12月14日(水)	63年8月生まれの者	午後1:00～2:00	〃
	2歳児歯科健診		11月8日(火)	61年6月～9月生まれの者	午後1:00～1:20	山村開発センター
	乳児(6～7か月)健診		11月29日(火)	63年4月・5月生まれの者	午後1:00～1:20	〃
	乳児(9～10か月)健診		11月29月(火)	63年1月・2月生まれの者	午後1:00～1:40	〃
	3歳児健診		12月20日(火)	60年10月・11月生まれの者	午後1:00～1:20	〃
	1歳6か月児健診		12月20日(火)	62年4月・5月生まれの者	午後1:30～1:40	〃
予防接種	結核検診	ツベルクリン反応検査	11月15日(火)	生後3か月以上児全員	個人に通知します	村内7か所
		B C G	11月17日(木)	ツベルクリン反応検査で陰性と判定された者		
	はしかおたふくかぜ		随時(電話で申し込み)	1歳6か月以上児で、はしか、おたふくにかかっていない者	午前8:30～午後5:00	村診療所
妊婦	母子手帳交付日		11月12日・26日(土)	妊娠していることが明らかな妊婦本人(印鑑を持参)	午前8:30～正午	役場内
			12月10日・24日(土)			

※健診・予防接種には忘れずに母子健康手帳を持参しましょう。



おいしいなー 野外給食

学校給食センターでは、野外で給食を楽しく食べてもらおうと春と秋の年２回「野外給食」を実施しています。

今年の秋の野外給食は、10月12日に、児童館、幼稚園、小中学校でそれぞれ行われました。

この日は、村内小学校陸上競技記録会が青少年広場で行われたため、３年生以上の児童は青少年広場で、また、鮫川幼稚園の園児たちも競技を見ながら広場で給食を食べました。

（写真は、青少年広場で給食を食べる鮫川幼稚園の園児たち）

幼年消防白河地方大会



財団法人日本防火協会・白河地方広域防火委員会共催による「第５回幼年消防白河地方大会」が10月14日、棚倉町総合体育館で開催されました。

この大会は、正しい火の取扱いに対する〝しつけ〟と、防火教育を通じての社会活動や集団活動を体験することによって、防火思想の高揚を図ることを目的として毎年行われているものです。

本村からは、渡瀬保育所が参加し、「ぼくらの野山だ山火事用心」の演技を発表し、参観者の目を楽しませました。（写真は、演技を発表する渡瀬保育所の幼児たち）

文芸

俳句

大塩　矢吹　呂孝

茶を立てて自慢の菊を語る友
上　　高坂　蚯切

霊還り高燈籠を納めけり
反　田　小山田清哲

泥の田に足とられつつ稲を刈る
道少田　山本五十鈴

観音の笑みに広がる秋の雲
いわき市　金沢　暁舟

葭切りの声のせてくる通り雨
横　座　矢吹　茂

でんがくのみそかんばしや里祭り
宿ノ入　田中　義明

雨上がり一直線に秋あかね
新　宿　斉須　信子

京焼の夫婦茶碗の赤と青
押　野　山本　恵子

凶作の刈田をつつむ日ざしかな
鮫川高校　沢　草二

若妻が人陰にいて宮相撲
道少田　山本　朗史

あらぐさの実のこまごまと村不作
新　宿　杉山　忠男

短歌

たそがれに懸崖のつゝじ剪定す妻声張りて夕餉を告げる
遠ケ竜　中川西好幸

トラクター横日に遠く眺めつつ固執の鍬のひかりを撫づる
名　下　須藤美代子

冬眠の蛙に触るる鍬先を怖れつつ空きし畑を耕う
折　戸　阿久津ミツ

低温と長雨に夏なく秋づけば出穂は稔らず哀れ枯れ立つ
越　虫　星　　武

秋陽浴び静かへりたる野路ゆけば蟋蟀の音かすかに透うる
広　畑　岡部ヒサ子

ひと夏を茶箱に眠りしセーターを出番とばかり部屋にひろげる
青生野　吉成　タカ

強霜に打たれ萎えたる秋ざくら灰色に凝りあはれ陽を浴ぶ
福　原　蛭田　正

幼子のプレスレットは水引草
夕やけ小やけ唄いつつゆく
新　宿　長田　正男

渓川に黒く動めく大岩魚春には再びめぐり逢えるや
広　畑　蛭田のり子

亡き祖父が微笑みかける仏壇に向いて子等は何を祈るや
棚　橋　関根　一好

自給する米さえ穫れぬ青立つ田刈らねばならぬ農の宿命
新　宿　関根　京子

すすき揺れる吉野の里にひとりきて小さき命と浸る山の湯
宿ノ入　宗田　俊江

学童の頬を染めいる夕焼けに長雨も明日は晴れるやも知れず
酒　垂　石井　カヤ

敬老の日に赤い座布団を貰いきて笑みたるしわ多き顔
大　塩　鈴木美枝子

鹿角野に三十年を逢わざりし友に合う日ようまいもの祭に
前　沼　岡部ヨシエ

還暦を迎える歳になるわれは時代の流れに今だなじめぬ
巡ケ作　鈴木　米子

後かたずけないのがいいねと夕食をすませくつろぐ旅の湯の宿

農委だより

10月1日～11月30日

農地流動化促進強調月間

生産性の高い農業の確立を！

主要農産物の輸入自由化決定、米価をはじめとする農産物価格の低迷など、農業をめぐる情勢は一段と厳しさを増しています。

これらの内外の厳しい情勢に対抗し、国際競争力に耐え、かつ安価な農産物供給という国民の要請に応えられる農業経営の確立が緊急の課題になっています。

この課題に応えつつ、さらに将来、農業の経営規模拡大により、農業で自立しようという意欲と熱意を持って取り組む農業者を育てるため、農地の貸し借りを重点的に進める必要があります。

このため、十月～十一月の二か月間を「農地流動化促進強調月間」に設定しています。

農地を貸したい人（出し手）または、農地を借りたい人（受け手）で、次のような希望の方は、農業委員会にご相談ください。

【貸し手農家】

一、経営主が高齢化で、後継者がいない
二、兼業（他産業）に専念
三、農機具の更新時期であるが、再投資をしたくない
四、経営規模が小さいので離農したい

【貸り手農家】

一、経営規模の拡大を生産性の向上を図りたい
二、農地や機械施設を高度に利用したい
三、貸し借りでもよいが、農地を買いたい



また、農地流動化促進事業は、安心して農地の貸し借りができ、いろいろな特例・特典があります

【貸し手農家】

一、農地流動化助成金が交付されます
二、期限がくれば離作料なしで、必ず返してもらえます
三、農地保有合理化と結びつければ、小作料の一括前払が受けられます
四、離農給付金（六二万円）の特典もあります

【借り手農家】

一、契約期間中は、安心して耕作でき、契約の更新ができます

農業者年金・経営移譲年金受給対象者の説明会開催

十月二十七日、農業技術指導センターで、昭和五年生まれの方で、二年後の昭和六十五年一月から十二月までの間に農業者年金経営移譲年金の裁定請求をされる方を対象に、説明会を開催しました。

初めに、村農業者年金協議会国井会長のあいさつがあり、続いて、担当者が農業者年金のあらましと年金受給手続について詳細に説明し、その後、個人ごとの相談を行いました。

この説明会は、年金を受ける一年前に満たさなければならない受給資格要件の確認と、経営移譲を適格に行うために事前に研修を実施しています。

当日の該当者は二五人で出席された方は真剣にメモをとり、活発な質問も出され、盛会のうちに終了しました。

農業者簿記指導員研修会に参加してみませんか

農業経営の規模拡大や作目の多様化、資金借り入れ額の増加等ともあいまって、自ら記帳し、収支計算や青色申告、さらには経営分析を行う農業者も増えてきています。しかし依然として記帳をしない農業者も多く見受けられます。

一方、収入金課税方式、記帳義務制度等の導入等により農業者の記帳に対する関心も高まっています。

これに対応するには、日常的に農業簿記記帳・経理・経営診断等の指導ができる指導員の養成を図ることが重要になっています。

そこで、簡易式農業簿記の記帳の仕方・農業経営の分析の仕方等を中心とした研修会が、次により開催されます。

一、日時
十一月二十四日午前十時～二十五日午後三時

二、場所
郡山市朝日
県農協連郡山会館大ホール

三、参加経費
研修会負担金一、五〇〇円
経費と旅費については、村が一部負担します。

なお、参加希望者は十一月十九日まで村農業委員会へ申し込んでください。

公民館だより

おじいちゃん おばあちゃんと楽しい一日

ふる里少年教室

ふる里少年教室第三回講座「ゲートボール」教室は老人クラブのおじいちゃん、おばあちゃんを先生に、十月二十三日、二六名の児童が参加して、さぎり荘ゲートボール場で行われました。

初めに、老人クラブ連合会副会長の鷲野谷満さんのあいさつがあり、蛭田正さんよりルールの説明を受けたあと、一チームの編成を、児童三人、おじいちゃんおばあちゃん二人とし、三コートに分かれてそれぞれのチームのおじいちゃんおばあちゃんの指導を受けながら、試合形式の実技指導を行いました。午前中は、一試合三〇分づつで三回戦行いましたが、昼食時間を二〇分も遅らせる熱心さ。午後は、おじいちゃんおばあちゃんのチームに挑戦したいという子供たちの希望により、子供たちのチームを六チーム、おじいちゃんおばあちゃんのチームを三チーム編成し、三コートに分かれ子供たちだけの予戦を行い、勝ったチームがおじいちゃんおばあちゃんチームに挑戦しましたが、各コートとも足元にも及ばず完敗。

まだ試合をしたいという子供たちでしたが、時間となり終了としましたが、スポーツを通し、世代を超えてふれあいを深め合い、楽しくなごやかな一日を過ごしました。



▲ルール説明を聞く学級生



▲第1ゲート通過をめざして

綱引き競技講習会開催

去る十月二十八日午後七時三〇分から二時間にわたり、村体育協会と教育委員会共催による綱引き競技講習会が、農業者トレーニングセンターで実施されました。

この講習会は、村体育協会主催による綱引き競技大会が十二月十一日に開催されるため綱引競技のルールと技術の習得を目的として開かれたもので、各地区体協の代表者四三人が参加し、村体育指導委員で全国綱引連盟公認審判員の生方利夫さんほか体育指導委員の方々により、綱引き競技の内容、進め方、綱の引き方等の指導がなされました。

村体育協会では、十二月十一日の大会に、各地区体協から最低三～四チームの出場をお願いしていますが、地区体協にかかわらず気の合った仲間による出場も大いに歓迎します。

なお、綱引き競技に関する問い合わせは、村体協事務局（山村開発センター内）か、広報さめがわ五月号中公民館だよりの欄に掲載の、体育指導委員の方々にご相談ください。



夢をのせて飛べ大空へ！

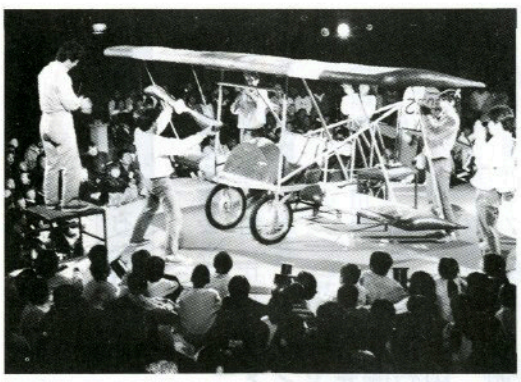
『とべとべヒコーキZ型2号』

劇団さっぽろによる家庭劇場児童劇公演は、十月十七日農業者トレーニングセンターで開催されました。

公演は、普通のステージではなく、会場の中央に設けられ、どの角度から見ても実際に組み立てられてゆく飛行機を見ることができるように設定されました。

「とべとべヒコーキ」の上演が始まると、五四八人の目は中央ステージにくぎづけになり、目の前で組み立てられてゆくヒコーキに熱中していました。

子どもたちだけの力でいろいろな問題を解決しながらやっと完成させ、プロペラが本当にまわるころには、会場は演技者と子どもたちの空間がなくなりいっしょになって〝とべとべヒコーキ〟の大合唱になりました。



11月9日は一一九番の日

十一月九日は一一九番の日です。

一一九番への通報は冷静に！

火災が発生したら、大声で近所の人に助けを求めるとともに、消防署（一一九番）へ通報します。

自分や家族だけで消そうとするのは絶対に禁物です。

●一一九番へ電話するときは、あわてずに次のようなことを正確に要領よく通報してください。

①　まず火災（救急）であることを伝える

②　場所（住所）はどこか

③　脱出できないでいる人の有無やけが人は

④　火災現場付近で目的になるものは

（棚倉消防署鮫川分署）

福島県最低賃金が変わりました

福島県の最低賃金が、昭和六十三年十月八日から下記のように改定されました。

この最低賃金は、福島県内の事業所で使用されるすべての労働者（パート、アルバイト等も含む）に適用されますので、使用者は労働者に対してこの最低賃金以上の賃金を支払わなければなりません。

詳しくは、福島労働基準局賃金課（☎〇二四五－三四－一一一一）へお問い合わせください。

福島県最低賃金		
最低賃金額	一日　三、四六二円	備考
	一時間　四三二円	時間給労働者

※最低賃金額から除外される賃金は①精皆勤手当、通勤手当、家族手当②臨時に支払われる賃金③時間外、休日労働深夜労働の割増賃金等

お知らせ

昭和63年分年末調整説明会

日時　昭和63年11月22日　午後2時～3時30分

会場　棚倉町役場三階正庁

昭和63年分青色申告決算説明会

日時　昭和63年12月5日　午前10時

会場　鮫川村商工会館

詳しいことは白河税務署におたずねください。

電話番号　〇二四八－二二七一一一

心あたたまる寄附

（村社会福祉協議会へ）

○　字辺栗　生田目一広様　亡父（通様）の遺志により　三〇、〇〇〇円

○　字中内　中川西一美様　亡妻（俊子様）の遺志により　三〇、〇〇〇円

○　郡山ヤクルト販売連合会　代表　金沢キクエ様より　五、〇〇〇円

○　字真坂　湯坐和彌様　亡祖父（武彌様）の遺志により　五〇、〇〇〇円

おくやみ

十月

歳　世帯主

辺栗　生田目通57　生田目一広

中内　中川西俊子36　中川西嘉安

越虫　蛭田慎也9か月　蛭田　操

おめでた

九月

下　菊地絵里子　父菊地吉雄

前沼　青戸明美　父青戸禎美

折戸　阿久津希　父阿久津光市

馬生田　鏑木理佐　父鏑木重正

十月

小名沢　生田目直樹　父生田目広美

伊柳沢　三瓶雄二　父三瓶正志

真坂　湯坐武彌97　湯坐和彌

今月の納付

固定資産税　第四期

国民健康保険税　第六期

国民年金保険料

納期限　11月25日

休日の在宅当番医

（11・12月）

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	石川町
11月13日(日)	勝田	一	原
20日(日)	菅原	一	吹中
23日(水)	薄葉	島田	央野
27日(日)	大木	本院	瓶島
12月4日(日)	東央	中車	中部
11日(日)	白川	根厚	田田
18日(日)	中田	生病一	川本
25日(日)	阿部	石川	内
29日(木)	藤田	（通常どおり）	矢
30日(金)	勝	〃	務
31日(土)	（通常どおり）	〃	山

ゴミの収集日

収集コース	種別	11月	12月
江竜田～中野町～福原～彦次郎～鍬木田～前沼～広畑～湯ノ田～遥ケ作～役場～保育所コース	可燃物	7.10.14.17 21.24.28	1.5.8.12 15.19.22.26
	不燃物	11.25	9.23
農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～鮫川分校（木曜のみ）～伏木田～大塩	可燃物	7.10.14.17 21.24.28	1.5.8.12 15.19.22.26
	不燃物	11.25	9.23
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～塚本～折戸～宝木～水口～落合～官沢コース	可燃物	2.9.16.30	7.14.21.28
	不燃物	10.24	8.22
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	2.9.16.30	7.14.21.28
	不燃物	18	16
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨ノ草～湯ノ田～中沢コース	可燃物	2.9.16.30	7.14.21.28
	不燃物	9	7.21
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	可燃物	2.9.16.30	7.14.21.28
	不燃物	11.25	9.23

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないでください。
※　ゴミは、収集日の朝に出してください。

心配ごと・行政相談　11月21日(月) 午前10時～午後2時　山村開発センター